

<「知るっば!久留米」 令和2年5月14日(木) 12:30~放送分>

地域おこし協力隊 ～第2回～ 地域おこし協力隊の活動について

<ゲスト： 田主丸地域おこし協力隊 黒田俊光さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。先週に続いて、今回も久留米市で活躍する「地域おこし協力隊」にスポットをあててお送りします。

今回のゲストは、前回に引き続きこの方です。

ゲスト:黒田俊光さん (以下「黒田」)

久留米市田主丸に住んでいる地域おこし協力隊の黒田です。

よろしくお願いします。

坂本 よろしくお願いします。

今回のテーマは、『地域おこし協力隊の活動について』です。

前は、久留米市に地域おこし協力隊員として赴任したお話とプロフィールをうかがいました。

今回は、田主丸地域の魅力発信プランナーとしての活動について、詳しくお聞きしていきます。

まずは、田主丸エリアで具体的にどんな活動をされていますか？

黒田 今年度の田主丸魅力発信の目玉として、『河童(かっぱ)ガイドツアー』というのを準備中です。

今、久留米市の DMO さんが中心となって動いてるんですが、皆さんご存知のように田主丸駅って
いけば河童の駅ですよ？

ところが、河童は駅だけじゃなくって、少し歩くと河童が集中してるところがあります。それが田主丸
の古い町並みの一部になっていて、その案内マップが作られています。

それが、『かっぱ巡りMAP』です。

坂本 今、私も『かっぱ巡りMAP』を手にしていますが、地図の中に色々なカッパが載っていて、ちょっと変
わった河童とか、可愛い河童とか、相撲をしている河童とかいるんですよ。

実は、私もよく知っているんですけど、河童も新旧様々ありますよね？

黒田 そうなんですよね。田主丸の人たちが、昔からずっと河童を愛しているってのがすごく分かると思
うんですよ。

ちなみに、この河童を誰が作ったか知ってますか？

坂本 昔の人ってくらいしかわかりません。

黒田 確かに昔の人なのですが、昭和30年頃には既に地域おこし協力隊の原型みたいな地域おこしを地元でやろうっていう団体がありまして、これが河童族と言われる方々です。
その河童族さん達が、石像をデザインして橋の上に置いたということで、とても面白いですね。
また、こういった石像だけでなく、鉄で作った河童とかもあります。

坂本 鉄ですか？

黒田 はい。鉄工所の方が板金して作った河童とか、版画の河童とか、水墨画の河童とか。
田主丸には本当に豊かな河童文化があるので、これをぜひツアーの中で味わっていただきたいと思っています。

坂本 立体あり、平面ありでバリエーションがすごいですよね？

黒田 はい。『河童=水』ってことで、水の文化を親しみ、地域に根ざした活動をしようってことで、今年度は、九州地方整備局の方々と一緒に巨瀬川でカヌーくんだりをしたり、自然観察をしたりする企画を温めているところです。ぜひ遊びに来てください。

坂本 次に、移住定住に向けた黒田さんの将来の夢や、地域おこし協力隊員として成し遂げたい目標について、これからのことを少し教えてください

黒田 前回は少し言葉が出たんですけど、田主丸というのは日本三大植木生産地なんです。でも、今それを知っている人っていうのは、全国的にはちょっと少ない感じがします。なので、もう一度、『植木といえば田主丸』というブランドを全国に知らしめることを自分の大きな目標としています。

坂本 『植木といえば田主丸』というブランドをさらに高めて、全国に打って出ようってことですね。

黒田 従来の植木を単純に生産、販売していただくだけではなく、田主丸だからこそその新発想のサービスもできました。
これから2つ紹介させていただきますけれども、1つ目はアロマ関係の製品を植木屋さん自身が作っています。今は植木屋アロマというブランドで売っていますが、今後は『ツリー&マエストロ』という新しいブランドで打って出ようとしています。

坂本 ちょっとシャレオツな感じですね？

黒田 はい、そのシャレオツなこのアロマ製品が売りなんですけど。

坂本 ラジオなんて、このアロマ製品をお見せすることができなくて残念なんですけど。

黒田 このアロマ製品で使われている木は、銀梅花(ぎんばいか)というものです。西洋ではヴィーナスや女神を象徴する香りとして知られているそうで、結婚式で花嫁さんのブーケにも使われるそうです。

坂本 本日は、私とその香りを体験したいと思います。
あ〜、しっとりした品のあるというか、上品な木の香りって感じて、いいですね。

黒田 このアロマ製品は、材料となる木の育成から蒸留までを田主丸で一貫して製造しているの、高品質だということです。
なので、誰もが知っている企業さんや、商品の目利きがすごい大手流通企業さんもこの製品に注目しおり、今後、展示会を予定するところまできています。

坂本 夢も実現間近のところまできているわけですね。

黒田 この銀梅花は、久留米市と福岡県が共同で初めて栽培技術を確立したということもあり、久留米産の製品をPRしていきたいと考えています。

坂本 それは期待が高まりますね。

黒田 もう一つは、店舗向けの新しい植木リース『TREESe(ツリース)』というものが始まりました。
特徴は、植木屋さんが実際に育成している植木を店舗向けに貸し出すんですけど、その水やりとか育成は全て植木屋さんがやってくれるんです。

坂本 植木のツリーとリースで『TREESe(ツリース)』なんですね。シャレてますね。

黒田 そのリースした植木がどんどん大きくなってお店に似合わないサイズになったら、条件付きではありますが、それを引き取ることで考えてくれています。
とにかく多く方に緑を楽しんでいただきたいという植木屋さんならではの発想ですね。

坂本 なるほど、素晴らしいシステムですね。その植木は購入もできるんですか？

黒田 はい。その場でリースされている植木を購入することもできます。
植木にはQRコードが付いていて、そのQRコードを携帯電話などで読み込むことで値段が分かたり、その場で購入ができます。
また、植木のそれまでの所有者の履歴もわかるので、この木は誰に愛されてきたのかっていう緑を慈しむ心まで演出できるかなって考えています。
なんか植木屋さんらしい発想で、かっこいいですね。

坂本 それはすごい技術ですね。

黒田 そうなんです。例えば、今の時期だとブルーベリーがきます。ブルーベリーは実を食べることもできますし、その実を食べにくる鳥を見るというアナログ的な楽しさもあるところが、このリースの魅力です。

坂本 色々な楽しみ方があるわけですね。

黒田 そうなんです。今日は2つの新しいサービスを紹介しましたが、植木を楽しむ新しい素材が田主丸にいっぱい出てきているので、それらを統合して全国にPRしていきたいと思っています。そして、『田主丸の植木』というブランドで全国にどんどん売っていきたくて燃えている最中です。

坂本 本当に素晴らしいですね。

今日は、久留米市田主丸エリアで活躍する地域おこし協力隊で、植木愛にあふれる田主丸地域魅力発信プランナーの黒田俊光さんにお話をうかがいました。

これからも頑張ってください。

黒田 どうもありがとうございました。